

## 【2017 年度 シラバス】

時間割コード		開講区分	春・夏学期
ナンバリングコード※	3B2101	曜日・時間	集中
開講科目名	地域対話法	単位数	2
担当教員	森栗茂一	年次	全研究科、学部3年以上の全学生、社会人（若干名）
講義題目	まちみちづくりファシリテーションと対話法と対話技能		
開講言語	日本語		
授業の目的	<p>複雑化多様化する今日の地域課題は、専門家のみならず、行政や住民、企業を含んだ地域社会が、地域で対話しながらすすめる必要がある。本授業では、地域での対話術と、多様な対話手法、日本的な寄合についても学ぶ。</p> <p>技法や理論の講義のみならず、教室内で演習し、また対話のプロセス・結果を話すこと、書き留める方法についても学び、高度職業人としてのみならず良き市民として、対話による地域づくりの能力を向上させることを目的とする。</p>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な対話法を学び、自分にふさわしい対話法、コミュニケーションデザインを体得できる。</li> <li>・多様な対話法を実践的に学び、対話において問う力、聞く力などを養うことができる。</li> <li>・学んだ技法とコミュニケーションデザインの基礎能力を、自己の研究生活、日常生活、市民生活で活用する態度と基礎的能力を獲得することができる。</li> </ul>		
履修条件・受講条件 ※	地域社会のあり方、及び自己のコミュニケーションデザイン能力の開発に関心のある院生の受講を歓迎する。		
授業計画	第1回：4/10 6限 オリエンテーション ：4/14（吹田）6限 オリエンテーション 第2回：9/2 3限 参加のデザイン（森栗） 第3回：9/2 4限 いろいろなワークショップ、対話技法（森栗） 第4回：9/2 5限 演習 ラウンドテーブル手法でふりかえり（森栗） 第5回：9/3 2限 対話、会話、ディベート・討論（森栗） 第6回：9/3 3限 4つの対話法（板倉信一郎） 第7回：9/3 4限 モデレーション（辻寛） 第8回：9/3 5限 演習「モデレーションをやってみよう」（辻寛） 第9回：9/9 3限 忘れられた衆議（森栗） 第10回：9/9 4限 演習 内発的発展と寄りあい（森栗） 第11回：9/9 5限 話し方について（桜井直子）		

	<p>第 12 回：9/10 2 限 住民主体とコミュニティデザイン、コミュニケーションデザイン（森栗）</p> <p>第 13 回：9/10 3 限 カフェ的対話（森栗）</p> <p>第 14 回：9/10 4 限 演習 対話法自分化のワールドカフェ（森栗）</p> <p>第 15 回：9/10 5 限 エピソードの書き方について（森栗）</p>
授業外における学習	<p>予習 授業体験のエピソード記述（宿題）</p> <p>予習：忘れられた衆議</p> <p>予習：オールドニュータウンの持続を担保するくるくるバス活動の位置づけについて</p> <p>予習：人間科学のための方法</p> <p>予習：わが国における地域イワラの維持・活用に向けたメディアターの必要性</p> <p>予習：曾根崎まちみちカフェ資料</p> <p>（参考書）岡並木『交通計画集成 第 2 巻』</p> <p>ヤン・ゲール『人間の街』</p> <p>ジェイコブズ『発展する地域衰退する地域』</p> <p>宮本常一『忘れられた日本人』</p> <p>(<a href="http://morikuri.cocolog-nifty.com/blog/2015/01/post-2296.html">http://morikuri.cocolog-nifty.com/blog/2015/01/post-2296.html</a>)</p>
教科書・参考資料 ※	授業中に配布する
参考文献 ※	<p>石塚雅明『参加の「場」をデザインするーまちづくりの合意形成・壁への挑戦』学芸出版社、2004 年</p> <p>伊藤雅春他『参加のデザイン道具箱』1993 年、世田谷まちづくりセンター</p> <p>桑子俊男『社会的合意形成のプロジェクトマネジメント』2016 年、コロナ社</p> <p>延藤安広『「まち育て」を育む』2001 年、東京大学出版会</p> <p>山浦晴男『地域再生入門：寄りあいワークショップの力』2015 年、筑摩書房</p> <p>山納洋『つながるカフェ：コミュニティの〈場〉をつくる方法』2016 年、学芸出版</p>
成績評価	出席と参加・発言 70%、宿題 30%.
キーワード ※	ファシリテーション、コーディネーション、モデレーション、ワークショップ、カフェ、宮本常一